

目標達成計画

作成日: 平成27年 2月 28日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	法人の経営理念を事務所に掲示し、職員がその実践に努めているが、事業所としての独自の理念がない。	職員全員が理念を実践に活かせるようにする。	職員みんなで話し合い、地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念を作成し、共有しながら、愛着心をもって実践に努める。	3ヶ月
2	6	昼間の玄関の施錠はしていない。夜間ベッドからの転落事故が数回発生し、ご家族からの要望もあったので、安全上ベッド柵を付けている。装着の理由、期間、対策の明示とご家族の同意書が無い。	時間帯により柵の装着をご家族と話し合い、利用者の安全を第一に優先する。同意書を提出していただく。	ご家族と話し合い、一人ひとり柵の必要性が異なるので、利用者のニーズに合わせた柵の使用方法にする。同意書の提出。身体拘束に関する研修を年間計画に入れ実施する。	6ヶ月
3	33	契約時に重度化や終末期に於ける対応について、事業所指針を説明し、同意書をとっている。開設1年足らずなのでまだ看取りは行っていない。	介護度の高い利用者様が多いので、重度化・看取りの対応体制作りをしていく。	職員の看取りの研修を実施する。	3ヶ月
4	35	災害対策マニュアルに基づいて3か月毎、年4回初期消火や避難訓練を実施している。運営推進会議などで地域住民の訓練参加・協力を求めているが、未だ現実していない。災害時の備蓄ができていない。	民生委員や近隣の住民に訓練への参加・協力を求めている。災害時の備蓄を準備しておく。	避難訓練は3か月に一度行っている。運営推進会議や老人会などで、地域の方に協力をお願いしていく。	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。